



2/9 1年SNSによるいじめに関する講演会

各教室で非集合型オンライン講演会を実施しました。ITジャーナリストの高橋睦子先生による「ケータイ・スマホ、ソーシャルメディア利用におけるトラブルの防ぎ方」についてのビデオを視聴しました。注意喚起と対処法について事例を交えながらのお話でした。生徒たちは先生の話に頷きながら耳を傾け、学んだこと、気付いたこと、考えを深めたことなどをワークシートに書き込んでいました。

1組薄井さん: SNSの恐さがよく分かった。今までの自分を振り返り、悪いところを改める。SNSを利用するときは、相手のことをよく考え発信する。「Rethink(思い返す)」ということを実践してみる。

井澤さん: スマホは便利だけど、その分危険であることが分かった。SNS等を利用するときは十分注意したい。これは大丈夫だろうか、個人情報載ってないか、誤解を招くようなことは書いていないかなどトラブルになりそうなことに注意してスマホを利用する。

2組立原(綾)さん: インターネットに潜む危険性、実際に起きた事件などについて学ぶことができました。これからはインターネットのルールを決めて、スマホやゲームをしたいです。

羽石さん: 少し背景が映っているだけでも住所を特定されてしまうということ、文字や写真だけではコミュニケーションが難しいということ、コメントなどをするとき考え直すことが大切だということ、ノリで投稿したら、その後一生後悔するということ学んだ。ラインなどでコメントするとき、本当に送っていいのか、もう一度考え直したい。軽いノリで動画を投稿しない。

3組加藤さん: ネットに発信するときは、もう一度内容を確認したり個人情報を特定されるような発言がないかを考えてから発信したい。ネットで発信するときは相手が傷つかないか、SNSの場合は個人情報を特定されるような内容ではないかを確認したい。

国府田さん: 話を聞いて、写真などを投稿するときに気を付けることや自分の個人情報を絶対に載せないということを意識したいと思った。自分でスマホの使い方やアプリなどの使い方を見直してスマホを使いこなせたらいいなと思った。

4組石田さん: インターネットはすごく便利だけど、使い方を間違えるととても危険で怖いものになる。インターネットで送るときなど一度見返して考えることが大事だと思う。

千代さん: 自分が送っていないものでも、自分の顔を載せなくても自分が被害にあうこともあるということが分かった。人に言葉や写真を送ると、人を傷つけたり、自分が傷ついたりすることが分かった。自分の顔を載せないだけでなく住所や学校、名前など探せば分かるようなことは載せない。人に写真を送るとき、一回考え他の人にも聞いてみる。一時的な感情で動かない。ゲームのチャットで知らない人とは話さない。



<ケータイ・スマホ、ソーシャルメディア利用におけるトラブルの防ぎ方(まとめ)>

- 1 写真・動画、文章を投稿したり送ったりする前に、見直す習慣を付けよう。
- 2 SNSは多くの人が見る公共の場。個人情報や問題があることは公開しないように。
- 3 スマホの利用時間をコントロールできるようになろう。
- 4 ネットで出会った人を信用しすぎず、自分を守ろう。

※トラブル防止のために専用のフィルタリングサービスやペアレンタルコントロール機能を利用してください。



